

# や な い 議会だより

12月定例会  
Yanai City Council Information  
2026.1.22 No.84

## 【主な内容】

- |           |      |
|-----------|------|
| ・新しい議会構成  | 2 頁  |
| ・定例会ハイライト | 4 頁  |
| ・一般質問の要旨  | 6 頁  |
| ・委員会での審査  | 10 頁 |



第68回 柳井市ロードレース大会

## 正副議長及び議会選出監査委員



副議長 平井 保彦



議長 山本 達也



監査委員 藤沢 宏司

## 新しい議会構成決定

令和8年1月9日に、新しい正副議長が選挙により決定しました。また、各常任委員会等の委員が選任されました。

### 総務文教常任委員会 (11人)



斎郷 孝



坂ノ井 徳



佐々木 久美



友座 泰



中川 隆志



○長友 光子



平井 保彦



○平岡 実千男



藤沢 宏司



山本 達也



山本 澄馬

各委員会は次の構成により審査を行います。

◎：委員長 ○副委員長

(委員の任期)

令和8年1月9日～令和10年1月8日

#### 議会運営委員会 (6人)

田中 晴美 ○友座 泰 ◎中川 隆志

平井 保彦 平岡 実千男 三島 好雄

#### 議会だより編集委員会 (6人)

斎郷 孝 佐々木 久美 ○ジョンソン彩奈

○長友 光子 中本 英宏 山本 澄馬

## 議会選出各種委員一覧

柳井地域広域 水道企業団議員	長友 光子 平井 保彦 平岡 実千男
柳井地区広域 消防組合議員	友座 泰 中川 隆志 三島 好雄 山本 達也
周東環境衛生 組合議員	岡 龍一 坂ノ井 徳 田中 晴美
農業振興対策 協議会委員	佐々木 久美
都市計画 審議会委員	坂ノ井 徳 友座 泰 中本 英宏 三島 好雄 山本 澄馬
環境審議会委員	山本 澄馬
西福祉センター 運営審議会委員	ジョンソン 彩奈
空家等対策 協議会委員	斎郷 孝
平郡航路 (有) 取締役	平岡 実千男
平郡航路 (有) 監査役	藤沢 宏司

## 建設経済常任委員会 (11人)



## 厚生常任委員会 (10人)



12月

# 定例会ハイライト

今定例会は、12月15日から12月23日までの9日間の会期で開催しました。

初日に議案 26 件、報告 2 件及び陳情 7 件が上程されました。

一般質問は、12月15日から16日までの2日間で、計6人の議員が登壇し、質問を行いました。

また、16日に議案7件が上程されました。

最終日には、議案1件及び議員提出議案4件が上程されました。

会期日程の詳細→



### 議案等の詳細→



## 審議結果の詳細→



## Pick Up

# 01 議案第 52 号 柳井市弓道場条例の制定について

新しい弓道場を翠が丘防災運動公園に整備したことに伴い、新たに弓道場の設置及び管理に係る条例を制定するものです。休館日は12月29日から1月3日まで、使用時間は午前9時から午後9時までに変更しています。使用料は表のとおりです。

1時間単位の使用料となり、また、7人立ちでの使用を原則とし、全面を使用する「専用使用」と専用使用がない時間帯に利用可能な「個人使用」の2種類となっています。なお、市内在住または市内の学校に通う児童・生徒もしくは学生や市内で活動するスポーツ団体の使用料は半額となります。

区分	使用料（1時間につき）		
	午前9時から 午後9時まで	午後9時から 午前9時まで	
弓道場	専用使用	770円	920円
	個人使用	110円	130円

区分	使用料（1時間につき）		
	午前9時から 午後9時まで	午後9時から 午前9時まで	
弓道場	専用使用	770円	920円
	個人使用	110円	130円

令和7年12月定例会で賛否が分かれた議案等

審議結果	各会派議員の賛否										賛否数			
	政友 クラブ	やない 経政会	1人会派								○ 賛成	● 反対		
			藤沢 宏司	平井 保彦	君国 泰照	山本 達也	田中 晴美	岡村 茂樹	篠脇 丈毅	坂ノ井 徳志	中川 隆志	岡本 泰勇	岡崎 泰行	川島 好雄
○：賛成　●：反対　欠：欠席 ※議長は表決に加わりません。														
【議案第83号】 令和7年度柳井市一般会計補正予算（第5号）	可決	○ ○	○	※	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	欠	●	●	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	欠	●	●	10	2
【請願第1号】 上関の使用済核燃料中間貯蔵施設設計画への反対決議を求める請願書 ○継続審査賛成　●継続審査反対	継続審査	○ ○	○	※	○ ○ ○ ● ● ● ●	欠	●	●	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	欠	●	●	6	6

請願第1号は可否同数のため、議長裁決により継続審査と決しました。

Pick Up

## 02 請願第1号

### 上関の使用済核燃料中間貯蔵施設設計画への反対決議を求める請願書

継続審査となっていた本請願は、中間貯蔵施設の計画に対し、市民を代表する柳井市議会として反対の意思表明を求める請願書です。採決の結果、可否同数となつたため、議長裁決<sup>※1</sup>により継続審査と決しました。

#### 継続審査に賛成の意見

9月定例会では、国策であることから、責任ある立場の国や電力事業者から説明を市民も聞いた上で、判断すべきであるという理由で継続審査となっている。9月定例会以降、このことについて進展していない状況である。現状での判断は困難であるため、継続審査にするべきである。

#### 継続審査に反対の意見

中間貯蔵施設の建設は、市民の安心・安全を守ることに逆行するのではないか。住民団体が実施されたアンケート調査結果や市議会議員の選挙の結果からも民意が中間貯蔵施設建設設計画に反対ということは明らかではないか。市民の代表として、市民の安全を守ることに責任を持つ議員として、この請願を採択するべきではないか。

議長裁決<sup>※1</sup>

議会の採決を行い、可否同数となった場合、議長がその議案の可否を決めることになります。  
(地方自治法第116条第1項)

Pick Up

## 03 議案第83号

### 令和7年度柳井市一般会計補正予算(第5号)

#### 教 育

#### やない暮らし応援買物券事業

物価高騰の影響を受けている市民の生活支援を図るため、令和8年2月1日時点で住民登録のある市民を対象に、額面1,000円の共通券8枚と小規模店専用券5枚の合計1万3,000円分の買物券を配布するものです。

3月上旬に発送開始を予定しています。



4億560万2,000円

#### 子育て

#### 物価高対応子育て応援手当事業

この手当は、物価高の影響を強く受ける子育て世帯を支援するため、国が臨時に創設したもので、児童手当の支給対象となる18歳以下のこども1人につき2万円を交付するものです。

2月下旬からの交付を目指し、準備を進めています。



8,256万7,000円

防火水槽等の整備について  
道路（市道）、水路等の維持管理について  
森林環境譲与税の譲与を受け実施した事業について



岡村 茂樹 議員



問 令和5年第1回定例会において、消防水利を積極的に設置するようお願いしましたが、その後どのように対応されてきたのかお伺いします。

答 消火栓は、令和5年3月以降、2基整備しており、防火水槽については、新規に整備していない。現時点において、消火栓や防火水槽などの消防水利は、概ね整備されていると認識しているが、住宅団地の造成などによる開発行為や戸建て住宅の建設に伴い状況が変化すれば、設置について検討していく。

問 令和6年第4回定例会において、森林環境譲与税を財源とした事業についてお尋ねした際に、「今後保育間伐等に取り組んでいく」とのことでしたが、その後の取組状況についてお伺いします。

答 各地区的意向調査や山林調査により得られたデータを基に、山口県東部森林組合と連携しながら、保育間伐をはじめとする森林整備を計画的に進め、森林の有する公益的機能の維持・向上につなげていく。森林環境譲与税を有効に活用し、今後も計画的かつ継続的に取り組んでいく。

問 令和6年第4回定例会において、社会基盤整備及び市道等の維持管理についてお尋ねした際に、「地方自治体のL-INEの公式アカウントに道路の損傷を通報する機能の追加などを他の自治体の動向も踏まえて検討する」とのことでしたが、その後どのように対応されてきたのかお伺いします。

答 既存の市公式L-INEシステムの変更には一定の経費を伴うことか



問 周辺市町から国や中電に説明会の開催を求める声が強くあるが、一向に責任ある説明会が行われていない。ズルズルの引き伸ばしが続き、議会や周辺市町に不安や不信感が高まっている。中間貯蔵施設は中電にとっても大変重要な施設である。説明会の開催について強く交渉すべきではないか。

答 上関町は、当初から、中間貯蔵施設の設置については、具体的な事業計画が提示された後に判断するとしており、山口県、本市においても同様の認識を持っている。このような経緯から、事業計画が示されていない現状において、質疑を尽くす場を開く状況には至っていないが、質疑を尽くす場が必要であり、そし

た場を設けていきたいという考えに変わりはない。立地可能性調査の結果は適地であるため、今後いずれかの時点で、事業計画が示されることが想定される。市民が抱える不安や疑問については、事業計画が示された上で、国や電力事業者からの説明



君国 泰照 議員



## 国の補正予算に対する取組は 空家カルテの作成の考えは



三島 好雄 議員

問 先日、政府は物価高騰対策を中心とした補正予算21兆3,000億円を決定した。この予算から、どれだけ柳井市に引き込み、どれだけ市民の皆さん的生活を支えていくかが、今後の大きな課題というよりもチャンスと思うが、柳井市として、どれだけの予算を確保する考えがあるか。

答 重点支援地方交付金の限度額については、12月16日時点での国審議中であり、国の補正予算が成立した後に通知されるため、その額は確認できない。また、各市町村の人口規模や財政力指數などから国によって算出され、山口県を通じて各市町村に交付される。趣旨を踏まえ、本市においてもできるだけ早い時期に、市民に支援が行き届くような事業を展開していきたい。

問 柳井市の空家解体補助は、上限150万円、補助率2分の1に拡充されたことは、非常に評価できる施策である。解体後どうするのか、という不安を少なくするため、危険

度・老朽度・所有者意向・活用可能性を整理した「空家カルテ」の作成を行う考えはあるか。

答 空家カルテは、空き家一軒ごとの状況を多角的に把握し、将来の利活用につなげる上で有効な方法であると認識している。一方で、市内すべての空き家について所有者の意向を把握するには、多大な労力と相応の費用が必要となるため、現時点ではただちに導入することは困難であるが、今後の調査手法の改善や情報整理のあり方については、研究を継続していく。将来のまちづくりに大きな影響を与える空き家問題に対し、危険空き家の解消を着実に進め、事前防災と有効な土地活用の観点から、総合的な施策として事業を展開していく。

問 歴史的な白壁の町並みに地域の文化や季節感を反映したカカシを展示し、町全体をアートな空間として演出すれば、メディア・SNSでの話題化による広報効果で観光客の増加と地域の活性化が期待できると思われます。ご意見をお聞かせください。

答 観光資源・地域資源には、その地域独自の歴史や地域ならではのストーリーが不可欠であり、それらが多面的に絡み合うことでさらにその地域の魅力が發揮される。白壁の町並みは、国的重要伝統的建造物群保存地区として、歴史的景観の保全が求められ、長年にわたり「白壁の町並み」と「柳井金魚ちょうちん」をシンボルとしてブランドイメージを育んできたエリアである。こうした経緯を踏まえると、新たにカカシを前面に打ち出した取組を導入することは、本市がこれまで築き上げてきたイメージとの調和や景観の統一性の観点から、現時点慎重な検討が必要と考える。今後とも、白壁の町並

みを守る会や柳井市観光協会、商工會議所等と連携し、白壁の町並みと柳井金魚ちょうちんという本市ならではの地域資源を最大限に活かしつつ、歴史的景観の保全・活用と観光の振興を図りながら、魅力あるまちづくりに取り組んでいく。

問 住民が直面する様々な困りごとに對し、最初の相談窓口として機能する総合電話相談窓口の設置は出来ないか、お尋ねします。

答 本市では、代表番号にお電話をいただいた際、電話交換手が内容をお伺いした上で、適切な部署に電話をおつなぎしている。また、所管の判断が不明なものは、総務課が調べた上で、回答や適切な機関、部署へご案内している。市役所は市民にとって一番身近な行政機関であるため、まずは柳井市役所22の2111番に電話していただきたい。

## 白壁の町柳井にカカシの展示を 何でも相談できる電話窓口の設置



岡本 泰行 議員

## 次期総合計画の改定にあたり、社会経済情勢にどう対応されますか



篠脇 丈毅 議員

問 一次産業の振興が肝となる。農業後継者の確保にどのような手当を考えられるか。

答 令和7年度の主な取組として、新たに農業経営を営もうとする認定新規就農者に対し、「経営開始資金」として、最長3年間、年間150万円を交付しており、就農初期の所得の下支えを行っている。また、新規就農者を受け入れた法人に対しては、「定着支援給付金」として年間80万円から90万円を最長5年間交付する。施設園芸の導入に関しては、温室等の設備整備に要する経費を補助し、園芸作物の導入や生産拡大を支援している。新規就農者の確保・定着に向け、これらの取組を今後も継続・充実させるとともに、就農希望者の掘り起こしや就農後の相談体制の充実など、きめ細やかな支援を一層強化していく。

問 新庄北部の長溝は、就農者の高齢化により管理が困難となつていい。林間部水路のパイプライン化は

できませんか。

答 水路への蓋がけ等による暗渠化、車両通行が可能となる管理道の整備、作業効率化を高めるための回転場の設置等は、維持管理の省力化と用水の安定確保に有効な方策であると考える。事業化に当たつては、受益者の同意や事業費の一部を負担していくいただく必要がある。本市としては、事業の検討や調整、国・県への申請手続等の支援をしていく。まずは新庄長溝水利組合において、受益者の合意形成を進めていただきたい。

問 柳井市を取り巻く海域は、黒潮の蛇行や海水温の上昇で漁場の変容が著しい。1市4町のリーダーとして山口県とともに漁業資源の増養殖に向け国に働きかけられませんか。

答 県と連携を図りながら、先頭に立つてこの広域を大いに巻き込み、海の幸を活かした地域づくりに、思いを込めて取り組んでいきたい。

## 高齢者の交通手段の確保について 使用済核燃料中間貯蔵施設問題について



長友 光子 議員

問 どこに住んでいても、安心して病院や買い物に出かけられることは、充実した生活に必要だ。予約制乗合タクシーの停車場所や、日曜・祝日の運行、そして、高齢者のタクシー助成券の増額を検討する考えはないか。

答 停車場所を増やし過ぎると所要時間が長くなり、かえつて利用しづらくなる可能性もある。利便性と運行の効率性のバランスに配慮しながら、運営主体の各地区社会福祉協議会において協議していただき、その内容を基に市及び交通事業者との第三者協議により、必要に応じ、柔軟に見直していきたい。日曜・祝日の運行については、運転手の確保や人件費の増加、事業費全体への影響に加え、主要施設の多くが休診・閉院であることから、需要の見極めも含め、慎重な検討が必要であると認識している。タクシー助成券については、タクシー運賃等を助成する「YANA ACA」への移行を検討する過程において整理していくこととしている。

問 中電は「立地可能」とする調査報告書を上関町長に提出した。地震に関する調査は不十分であり、海岸や海域の調査は行われていない。市民の安心安全に責任を負う当事者として、中電には必要な調査を求めるべきではないか。上関町には、この調査結果だけで建設の是非を判断しないよう求めるべきではないか。また、国や事業者の説明を待つだけではなく賛成反対の識者を呼んで、シンポジウムを開くべきではないか。

答 立地可能性調査の結果が不十分であると言われているが、だからこそ、議論を行う上での材料として、事業計画が必要であると申し上げてある。事業計画が出された後に、国や事業者との質疑を尽くす場を確保する。事業計画が出された後に、国や事業者との質疑を尽くす場を確保した上で、民意を見極めていきたい。また、本市がその場を主催することについては、現時点考えていないが、ほかの町でも様々な考え方がある。議論されているので、1市3町の協議の中でも研究していく。

◎会派別交付状況(令和7年4月～令和7年12月)

単位：円

会派名	交付申請額	交付額	実績額	使途内訳	
政友クラブ(2人)	220,820	220,820	220,820	調査研究費	220,820
やない経政会(2人)	41,765	41,765	41,765	調査研究費	41,765
ナチュラルパワー(1人)	105,960	105,960	105,960	調査研究費	105,960
柳政クラブ(1人)	105,960	105,960	105,960	調査研究費	105,960
柳甦クラブ(1人)	41,763	41,763	41,763	調査研究費	41,763
新政クラブ(1人)	41,763	41,763	41,763	調査研究費	41,763
立志俱楽部(1人)	41,763	41,763	41,763	調査研究費	41,763
明日のかたち(1人)	105,960	105,960	105,960	調査研究費	105,960
参政の会(1人)	105,960	105,960	105,960	調査研究費	105,960
市政クラブ(1人)	0	0	0	—	0
公明党(1人)	41,763	41,763	41,763	調査研究費	41,763
日本共産党(1人)	41,763	41,763	41,763	調査研究費	41,763
計	895,240	895,240	895,240	—	895,240

◎調査研究費による視察等の状況

視察先	内 容	会派名
社会福祉法人佛子園	ごちゃまぜでまちづくりについて	政友クラブ ナチュラルパワー 柳政クラブ 明日のかたち 参政の会
石川県立図書館	石川県立図書館について	やない経政会 柳甦クラブ 新政クラブ 立志俱楽部 公明党 日本共産党
京都市南部クリーンセンター環境学習施設さすてな京都	ごみ処理施設について	
株式会社浜田 京都PVリサイクルセンター	太陽光パネルのリサイクル・リユースについて	

※ 視察報告書は、事務局に保管しておりますので、どなたでも閲覧できます。

令和7年度柳井市議会政務活動費を公表します

※改選前までの4月から12月まで

- 政務活動費とは、議会の議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として交付するものです。  
(地方自治法第100条第14項)
- 柳井市では、会派に対し、所属議員数に月額2万円を乗じて得た額を上限に交付しています。  
(柳井市議会政務活動費の交付に関する条例)
- 政務活動費の交付を受けた会派は、収支報告書を提出し、交付額に残が生じた場合は返還しなければなりません。また、会派の経理責任者は、会計帳簿、領収書等の証拠書類を整理し、5年間保存しなければなりません。

## 総務文教厚生 常任委員会

### 委員長 坂ノ井徳



本委員会は、会期中の12月18日及び23日、閉会中の10月1日及び3日に開催し、議案22件、認定4件、請願1件及び付託調査事項等についての審査を行いました。

議案第52号柳井市弓道場条例の制定について、委員から、使用時間は午後10時までから午後9時までに変更するといふことだが、使用者への配慮はどうなるのかという質疑に、近隣住民への配慮として使用時間を午後9時までに変更したい旨を主な使用者である柳井市弓道連盟と協議を重ね、了解をいただいているとの答弁がありま

し。請願第1号上関の使用済核燃料中間貯蔵施設計画への反対決議を求める請願書について、10月3日の委員会では、審査の進め方について委員から意見を聴取し、前回の委員会から状況に変化はなく、また、市長は1市3町で国及び電力事業者から説明をしつかりと求めていきたいといふことから、今後の進捗状況を見極める必要があるとの意見がありました。12月18日の委員会では、委員から、請願の取扱いについて意見を聴取し、委員から説明をしつかりと求めていきたいといふことから、今後の進捗状況を見極める必要があるとの意見があ

る。市長が一般質問で、国及び電力事業者に対し質疑を尽くす場を設けるよう求めていると答弁したように、今後の進捗状況を見極める必要があるため、継続審査とすべきであるとの意見がありました。

議案第83号令和7年年度柳井市一般会計補正予算（第5号）について、委員から、買物券事業を上程する前に、物価高支援として

棚上げにしてしまうことは、その願意に誠実に向き合っていないと思われるため、採択に向けたものとの意見がありまし。また、別の委員からは、前回の委員会から状況に変化はなく、誠実に向き合いたいかうこそ、無責任な結果を出すべきではないと思う。市長が一般質問で、国及び電力事業者に対する支援が行われること、事業の早期実施の観点、また、食料品の物価高騰対策の加算もあ



議案第60号柳井市下水道条例の一部改正について、委員から災害などの際にほかの自治体の業者に工事を依頼

柳井市としてどのような施策が必要か検討したのかという質疑に、この度の交付金は物価高騰の影響を受ける生

活者等の支援が目的となつており、国の推奨メニューを参考に、可能な限り早期に実施することが求められています。市民全員に公平な支援が行われること、事業の早期実施の観点、また、食料品の物価高騰対策の加算もあ

用できること、最後に、柳井商工会議所等からの要請もあり、市内の消費喚起の観点から協議、検討を行い、買物券事業としたとの答弁がありました。

## 建設経済 常任委員会



総務文教厚生常任委員会

本委員会は、会期中の12月17日、閉会中の9月29日に開催し、議案13件、認定2件及び付託調査事項等についての審査を行いました。

することができるといふことだが、ほかの自治体も同様な条例を改正される予定になつてゐるのかという質疑に、全国の市町村の指定工事店を想定している。また、ほかの市町村でも同様の改正を行つてゐるという答弁がありました。



議案第75号令和7年度柳井市下水道事業会計補正予算（第1号）について、委員から、ポンプ場の管理の委託を行つてゐるが、どう質疑に、通常の維持管理、定期点検、さらに大雨や台風に備えて現地に人員を配置しているという答弁がありました。また、委員から通常の業務は業者に任せているということだが、日報などで確認しているのかという質疑に、提出していただいているのかという答弁がありました。



建設経済常任委員会

議会運営委員会における付託調査事項について、閉会中の12月10日及び会期中の12月15日に行つた。その結果、第1次スクリーニングより盛土の範囲は少ないという結果が出た。今後、安全性を確認するため、ボーリング調査を行う計画であるという答弁がありました。

議会運営委員会における付託調査事項について、閉会中の12月10日及び会期中の12月15日に行つた。その結果、第1次スクリーニングより盛土の範囲は少ないという結果が出た。今後、安全性を確認するため、ボーリング調査を行う計画であるという答弁がありました。

議会運営委員会における付託調査事項について、閉会中の12月10日及び会期中の12月15日に行つた。その結果、第1次スクリーニングより盛土の範囲は少ないという結果が出た。今後、安全性を確認するため、ボーリング調査を行う計画であるという答弁がありました。

議会運営委員会は、12月定例会の会期、日程及び議案の付託先等、議会運営に関する協議を行いました。さらに、書面等が要求されている手続のオンライン化を可能とする市議会会議規則の改正、議会運営委員会の定数を6人とする委員会条例の改正及び令和8年から政務活動費を年額当初に一括して各議員に交付するための政務活動費の交付に関する条例の改正について、定例会最終日に追加議案を提出する議員提出の議員報酬及び費用弁償支給条例を改正する議員提出議案を定例会最終日に追加議案することについて申し合わせを行いました。



議会運営委員会

議会運営  
委員会





## 主な議会の動き

10月



- 1日・総務文教厚生常任委員会  
3日・総務文教厚生常任委員会  
6日・柳井地区広域市町議会議長会  
9日・議会だより編集委員会  
10日・令和7年度山口県市議会議長会臨時総会  
16日・佐賀県鹿島市からの視察受け入れ  
24日・会派代表者会議
- 28日・山形県米沢市からの視察受け入れ  
30日・岩手県東石町からの視察受け入れ

11月

- 12日・全員協議会

12月



- 10日・議会運営委員会  
15日・本会議1日目  
・全員協議会  
・議会運営委員会  
16日・本会議2日目  
17日・建設経済常任委員会  
18日・総務文教厚生常任委員会  
23日・本会議最終日  
・総務文教厚生常任委員会  
・議会だより編集委員会

## 市議会では情報発信の充実に取り組んでいます

市民に開かれた議会にするために、昨年6月にチームイノベーションを設置し、これまでに9回の会議を開催し、情報発信の充実に向けた協議を行ってきました。

その中で、令和7年から、常任委員会の会議録のホームページへの公開、一般質問のYouTube録画配信、議会だよりの音訳版の発信、ようこそ市議会へのホームページへの掲載を実施しています。



### 会議のお見らいや

次期定例会の外定は次のとおりです。

#### ○第1回定例会

(3回議会)

3月24日(火) までの外定

【場所】  
議場(市役所5階)

※会期の詳細は、3月24日(金)午前10時からの開催外定の議会運営委員会で決定される。

### 編集後記

やない議会だより 編集委員会	
委員会委員会	委員長副委員長
委員会委員会	長友光子
委員会委員会	斎郷ジョンン彩奈
山本中本	佐々木英宏
澤馬	久美孝

新年あけましておめでとうございます。  
議会だより編集委員会も新体制になりました。親しみやすく、議会が身近に感じられるような紙面づくりに挑戦していきます。